

# 大阪府枚方市の大規模排水機場ストックマネジメント工事を受注

## 枚方市からサダポンプ場のポンプ・減速機・エンジンの改良工事を受注

枚方市は、トリシマの本社がある高槻市と淀川を挟んで対岸にあり、大阪と京都の間であることから通勤や観光へのアクセスの良さが魅力のまちです。市の大部分は標高20m以上の枚方丘陵地区にあたりますが、淀川左岸地区は海拔20m以下の低湿地で古くから河川の氾濫に悩まされてきました。

サダポンプ場は、寝屋川市との境界に近い市南部に位置し、<sup>さだ</sup>蹠排水区(約557ha)の雨水排水を担っています。通常の雨水はバイパス水路から淀川に自然流下していますが、排水先である淀川の水位が高くなった時はバイパスゲートを閉じ、ポンプによる強制排水を行います。

本機場は1,500mmの立軸斜流ポンプが6台設置されている大規模な排水機場で、1974年から供用を開始しており、今回改良する2号雨水ポンプも1975年の納入から50年近くも周辺地域を守ってきました。

下水道事業開始から60年以上が経過した枚方市では、膨大な施設を今後も安全に利用するため、下水道ストックマネジメント計画と実施方針を策定し、下水道施設

の計画的な改良・修繕を実施しています。今回のサダポンプ場の改良もその一環で行われることになりました。

2020年に1号雨水ポンプの内部を内視鏡で視認する、ポンプ主要部品の健全度調査を行った結果、経年的な劣化はあるものの再利用可能な状態であったため、雨水ポンプを工場持ち帰り整備して延命化を図ることになりました。そこで、昨年は1号雨水ポンプ・減速機・エンジンの整備をはじめ、ポンプ遠隔監視、吐出弁遠隔制御の機能増設が行われ、今年度も同様に2号雨水ポンプ・エンジン・減速機の整備工事を受注しました。

本ポンプ設備の改良で信頼性および機能性を確保することにより、安心・安全な環境づくりへの貢献が期待されています。

ポンプ名称	2号雨水ポンプ
口径・形式	SPV1500
台数	1台
原動機容量	545 kW (ディーゼルエンジン)